

5分で読める

ちょっと役に立つ

介護事故予防のために  
**介護保険事故内容報告**  
を知っておきましょう

平成26年 5月



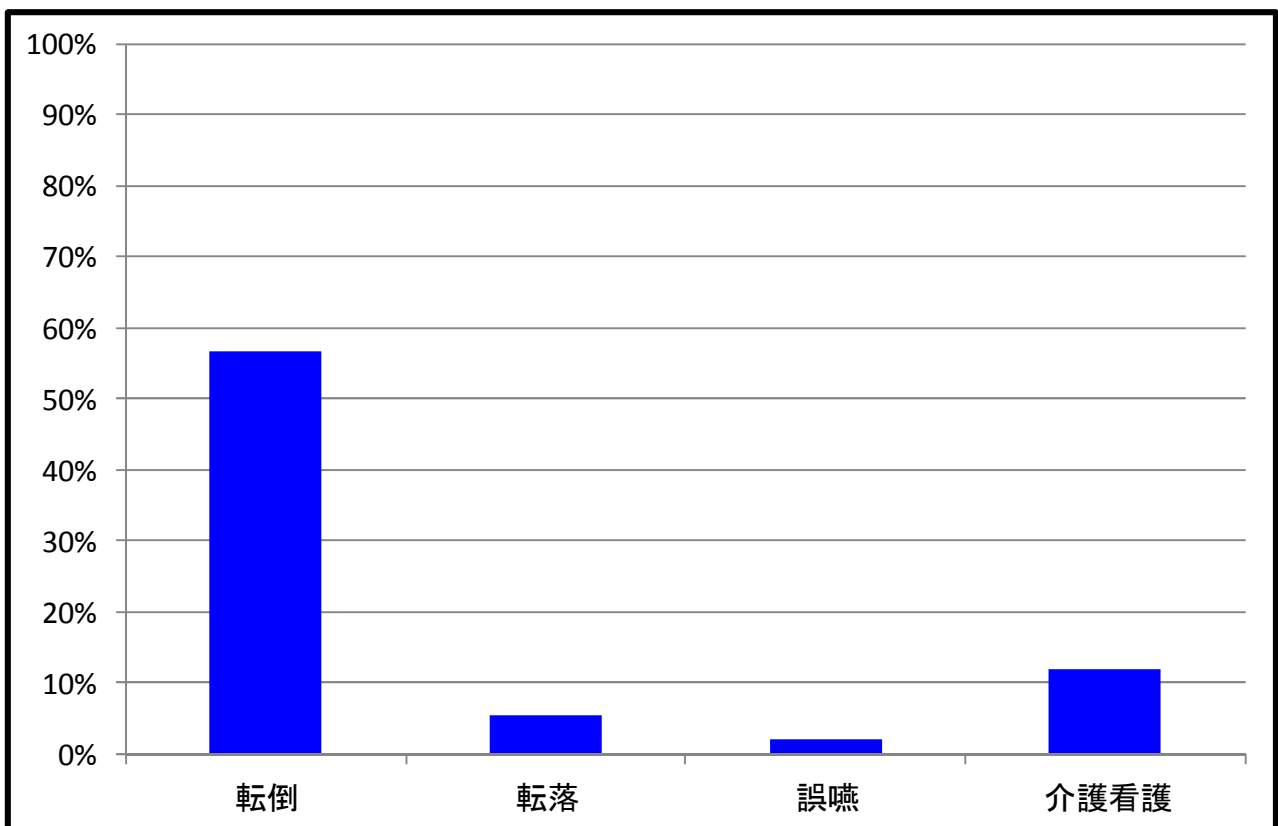
## 介護事故報告データ

### ●介護事故の現状把握

今回は具体的な事故内容のデータからどんな事故が多いか、事故による傷害部位はどこが多いか、事故の発生場所はどこが多いか、事故が起こった場合に患者に対してどのような治療をしたのか、そして、損賠賠償を請求があったのか。以上の内容をグラフ化して報告します。

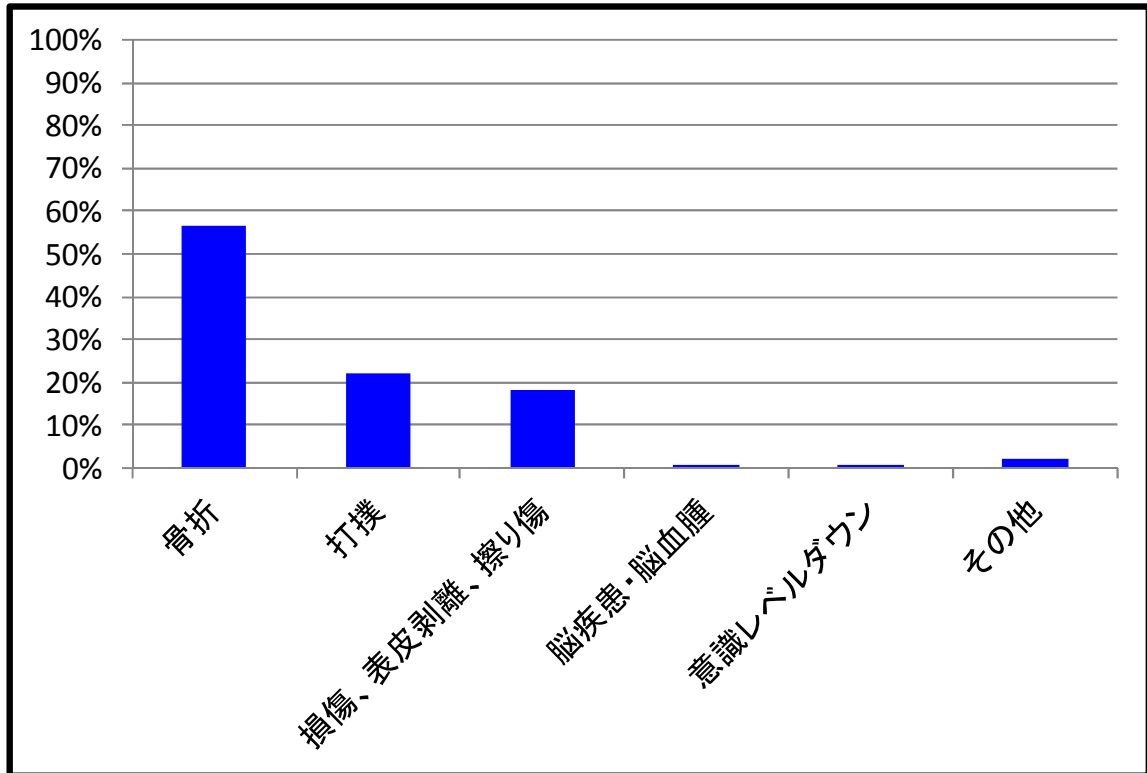
### どんな介護事故が多いか

介護事故で圧倒的に多いのが転倒事故です。次に転落事故になります。介護看護事故とは介護者・看護者の過失のことです。

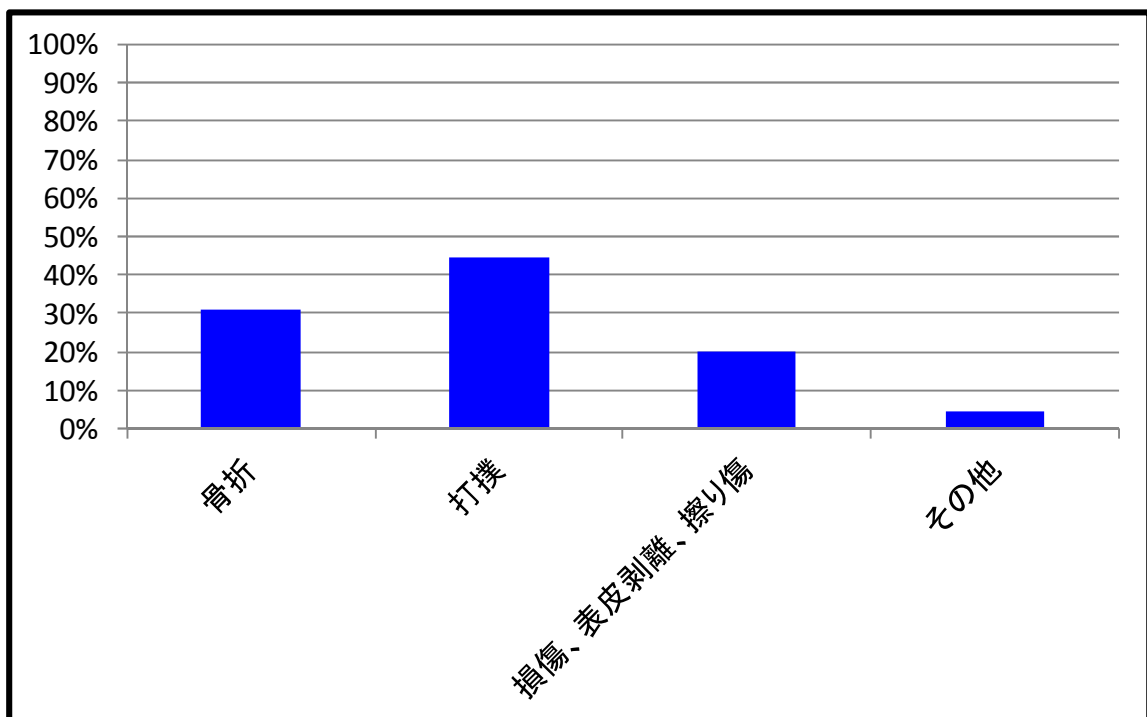


## 事故内容は？

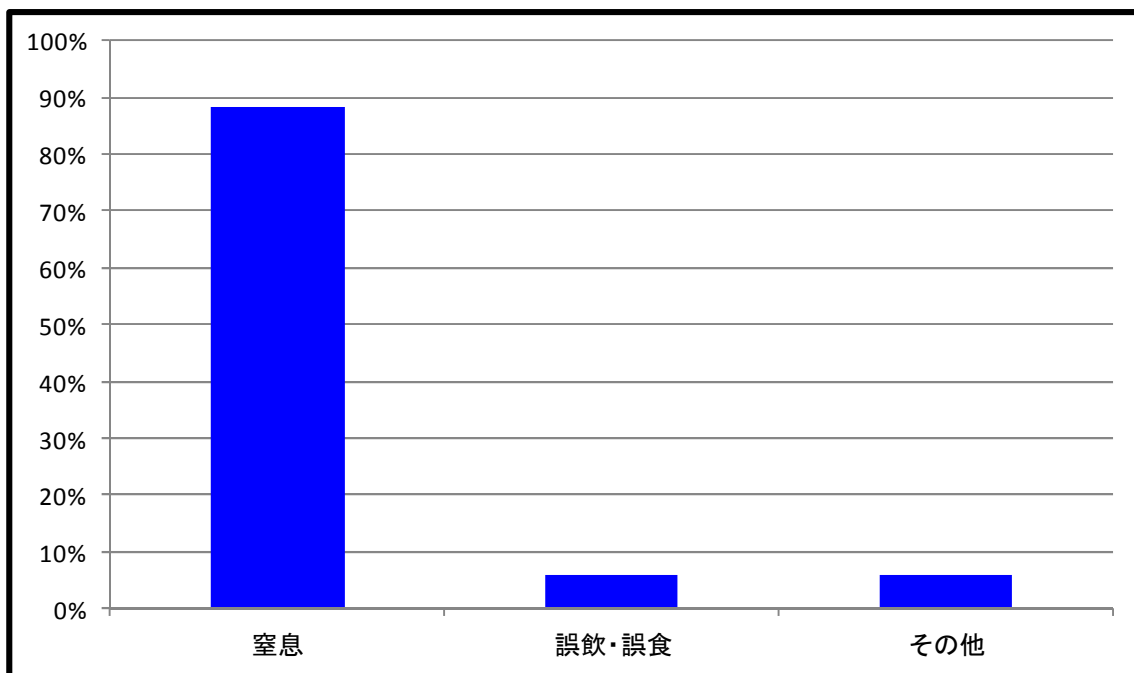
下記のデータは転倒事故になった場合にどんな事故内容になるかです。転倒事故では50%以上骨折になっています。



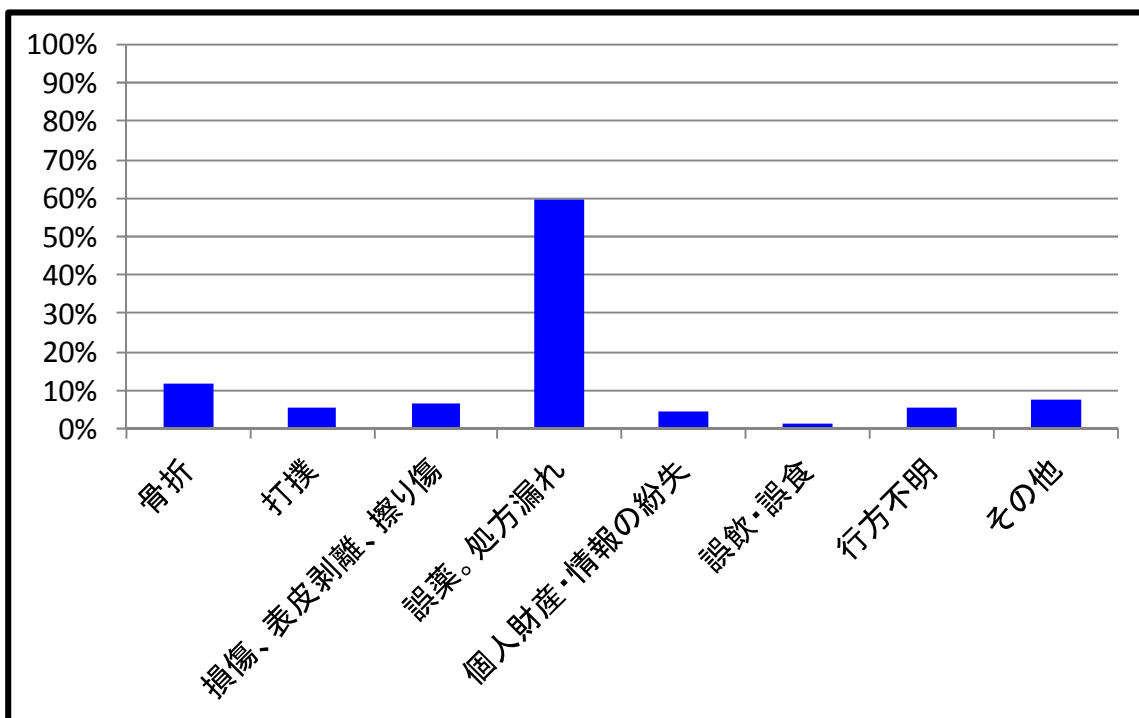
事故で2番目に多い転落事故では事故内容は打撲の方が骨折より多いのが特徴です。



誤嚥事故の場合に事故内容は窒息になるケースがほとんどです。窒息は生命に直接かかわるので誤嚥事故は要注意です。

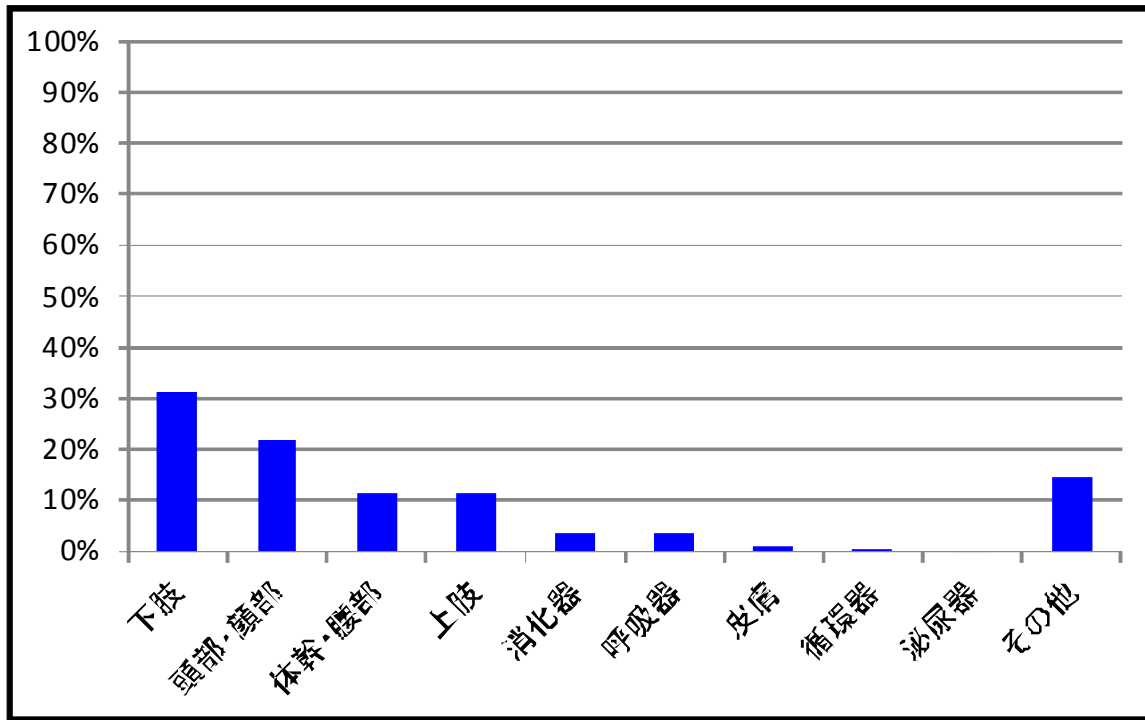


介護看護の過失の場合で多いのは薬の投与を誤った、あるいは投与しなければならない薬を投与しなかったなどうっかりミスが多いです。

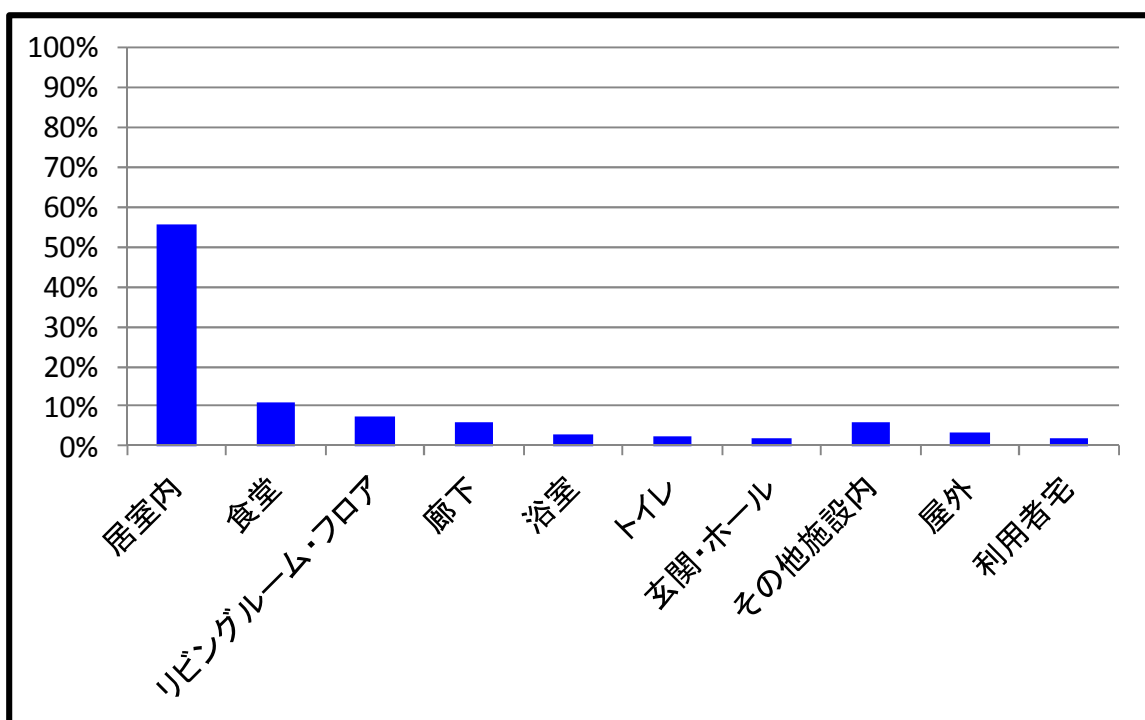


## 傷病部位と事故発生場所は？

事故内容が転倒、転落が多いです。その場合のケガする部位は下肢が多いです。それも大腿骨折が多いです。

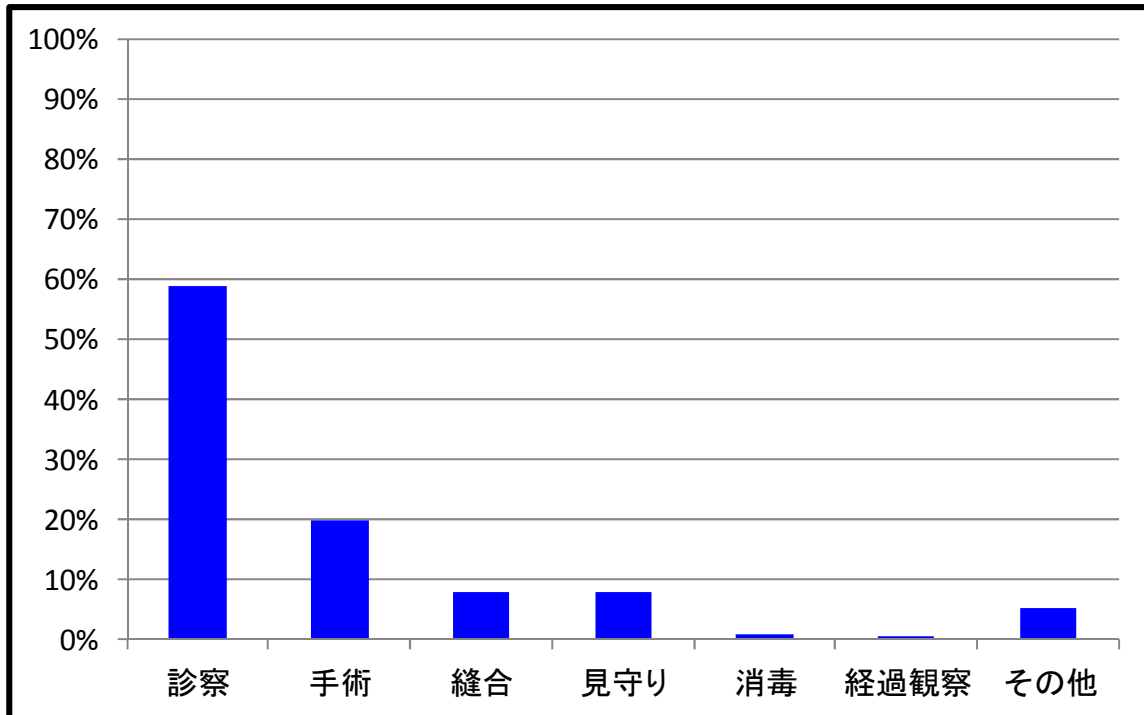


事故が発生した場所は居室内が多いです。つまり自分の部屋で事故が起こっているのです。



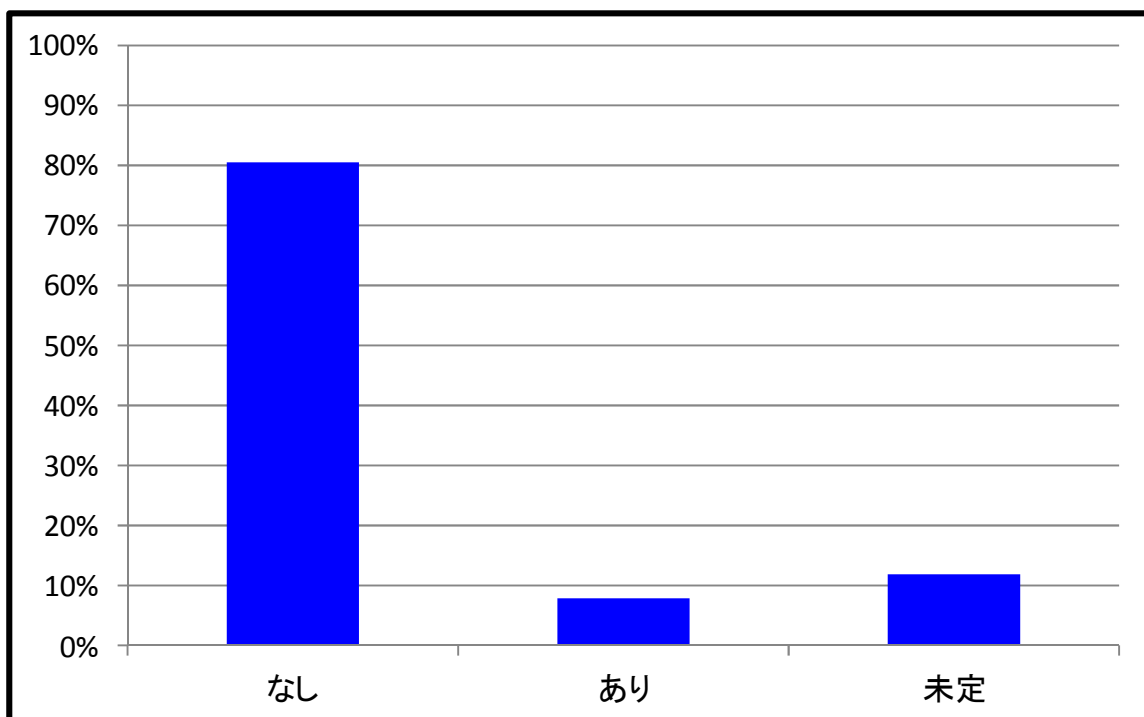
## 事故後のどんな治療をしたか？

ほとんどが診察のみです。手術、縫合は少ないです。



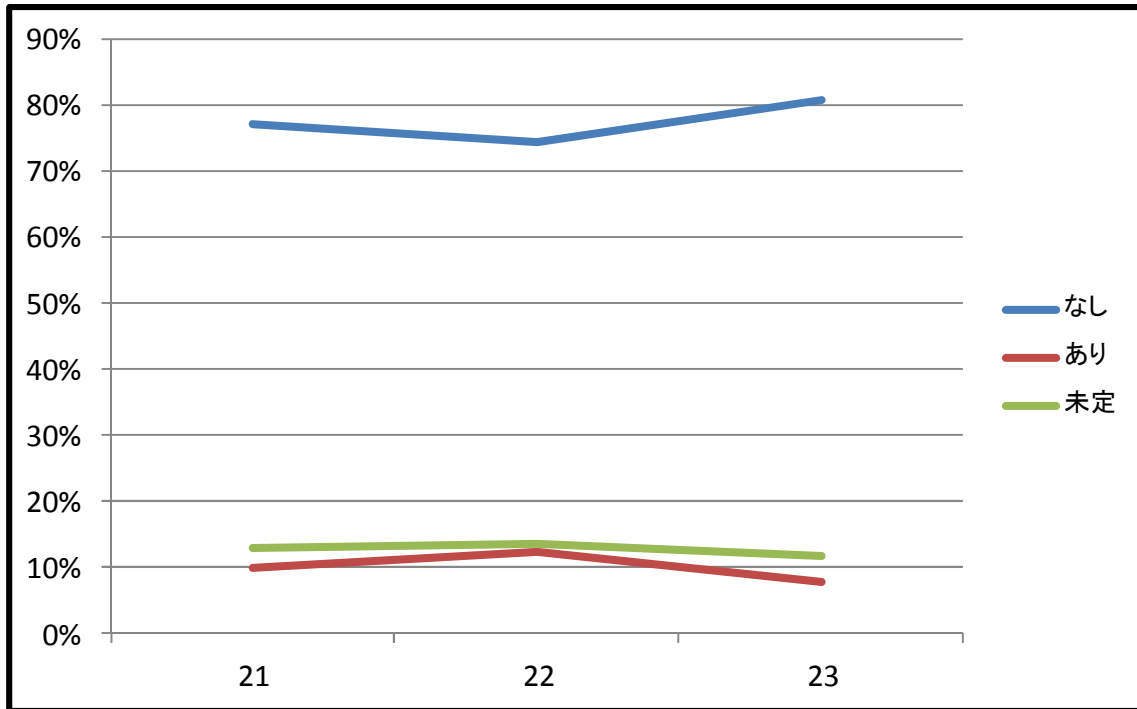
## 損害賠償請求の有無

介護業者が損害賠償請求されたケースは少ないです。損害賠償の内容は医療費の請求が主です。



## 年度別損害賠償請求の有無

事故が起こった場合に介護業者が損害賠償を請求された割合は事故の10%程度です。年度別でも大きな変化はありません。



以上のデータは『東京都世田谷区平成23年度介護事故報告』より

